

皆の者よく聞きなさい。これが最後の言葉である。亡き頼朝公が朝廷の敵を倒し、幕府を開いてから、官位や土地など、その御恩は山よりも高く海よりも深い。この御恩に報いる心が浅くてよいはずがない。…名誉を失いたくない者は、敵を討ち、幕府を守りなさい。

一、頼朝公の時代に定められた、諸国の守護の職務は、国内の御家人を京都の警備に当たらせること、謀反や殺人などの犯罪人を取り締まることである。  
一、女性が養子を迎えることは、律令では許されないが、頼朝公の時代から今日まで、子のいない女性が土地を養子に譲ることは、武家社会のしきたりとして数え切れないほどある。  
(一部要約・抜粋)

▲A鎌倉幕府のしくみ ▲B承久の乱時の北条政子の言葉 ▲C御成敗式目(貞永式目)

1 各地で生まれる武士団 (図表のワーク①~⑧) 教科書 P.60・61

- 1 荘園領主…荘園の持ち主は、貴族や大寺社に荘園領主となってもらい、税を免除される特権を得た。
- 2 武士の役割…9~10世紀、土地(領地)をめぐる争いなどが起こるなか、戦いを職業とする武士が育った。武士は武士団というまとまりを形成。武士団の中では源氏と平氏が力をつけ、武士の統率者(棟梁)となった。
- 3 地方の武士の自立の動き…10世紀半ば、平将門が関東地方で、藤原純友が瀬戸内地方で乱を起こした。東北地方では、11世紀半ばに豪族が勢力争い→源義家らが平定→源氏が東国(関東地方)で力を持った。また、東北地方は奥州藤原氏が統一し、平泉を中心に三代にわたって栄え、中尊寺金色堂などを造った。奥州藤原氏三代の遺体が安置されている

2 朝廷と結び付く武士 (図表のワーク⑨~⑮) 教科書 P.62・63

- 1 院政と武士…11世紀後半、摂関政治が終わる→白河上皇が院政を開始→12世紀半ば、院政の実権をめぐる争い→後白河天皇が源義朝や平清盛らの協力を得て勝利(保元の乱)→後白河上皇の政権内で勢力争いが起こる(平治の乱)→平清盛が源義朝を破り、義朝の子の源頼朝が伊豆に流される。
- 2 平氏の政治と日宋貿易…平清盛が権力を強め、武士として初めて太政大臣となった。11世紀ごろから行われていた日宋貿易に力を入れ、大輪田泊を修築。  
兵庫県神戸市にあった港
- 3 平氏の滅亡…政治や富を独占する平氏に対して、貴族や大寺社、武士が反発→源氏を中心に平氏打倒の挙兵→源頼朝が東国の支持を集め、弟の義経の軍勢を派遣→1185年、壇ノ浦で平氏が滅亡。

3 鎌倉を中心とした武家政権 (図表のワーク16~23) 教科書 P.64・65

- 1 鎌倉幕府…源頼朝は国に守護を、荘園や公領に地頭を設置し、征夷大將軍に任じられ、鎌倉幕府を開いた。
- 2 将軍と御家人…将軍は御家人に役職や領地を与え(御恩)、御家人は戦や警備など(奉公)を行った。
- 3 地頭の支配…地頭は荘園や公領の農民を支配し、荘園領主に納める年貢の取り立てを行った。
- 4 執権政治…頼朝の死後、実権は執権の北条氏が握った→1221年、後鳥羽上皇が幕府を倒すために挙兵したが敗北(承久の乱)→幕府は京都に六波羅探題を置き、朝廷を監視し、西国の武士を統制した。初代執権は北条時政
- 5 御成敗式目…1232年、北条泰時が公正な裁判を行うために制定。貞永式目ともいう。御家人の権利や義務などをまとめ、その後の武家政治の基準となった。

4 武士や僧侶たちが広めた鎌倉文化 (図表のワーク24~32) 教科書 P.66~69

- 1 鎌倉文化…武士の気風に合った、力強くわかりやすい文化。
  - 1 彫刻…運慶、快慶らが東大寺南大門の金剛力士像を制作。
  - 2 文芸…軍記物の『平家物語』、『新古今和歌集』、鴨長明の『方丈記』や兼好法師の『徒然草』などの随筆。
  - 3 鎌倉仏教…わかりやすく信仰しやすい教え。

宗派	開祖	特色
浄土宗	法然	念仏によって極楽へ
浄土真宗(一向宗)	親鸞	悪人こそが救われる
時宗	一遍	踊り念仏
日蓮宗	日蓮	題目を唱える
禅宗	栄西・道元	座禅で悟りを得る

▲D鎌倉仏教 禅宗は幕府に保護された。

## ☑ 図表のワーク

学習のまとめを見て  
図表を完成させよう

世紀	武士の登場
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>有力な武士が従者を組織して①を形成→特に②氏と③氏が有力に</li> <li>10世紀半ば、関東地方で④が、瀬戸内地方で⑤が反乱</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>前九年の役・⑥の役→源義家らが平定→⑦氏が東北地方を統一</li> <li>世界遺産の⑧が残る平泉を中心に栄える</li> <li>11世紀後半、藤原氏と血縁のうすい後三条天皇<small>ごさんじょう</small>が即位→摂関政治が終わる →白河上皇が⑨を始める</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>12世紀半ば、朝廷内の勢力争い(⑩の乱)→後白河天皇が勝利→後白河上皇の政権内で勢力争い(⑪の乱)→⑫と源義朝が対立→⑫が勝利し、実権を握る</li> </ul> <p><b>平氏の政治と源平の争乱</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑫は武士として初めて太政大臣となる→⑬貿易に力を入れ、大輪田泊を修築</li> <li>政治や富を独占する平氏への不満が高まる→⑭が挙兵して東国の武士の支持を集める →1185年、弟の⑮が壇ノ浦で平氏を滅ぼす</li> <li>1185年、⑭が、国ごとに⑯を、荘園や公領ごとに⑰を置く</li> </ul> <p><b>鎌倉幕府の成立</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑭が1192年、征夷大將軍となり、鎌倉幕府を開く →將軍と御家人は、御恩(役職や領地を与える)と⑱(合戦や警備など)の主従関係</li> </ul>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑭の死後、実権は⑲の役職(初代は⑳)に就いていた北条氏へ →院政を行っていた後鳥羽上皇が倒幕をねらって1221年に挙兵(㉑の乱)→幕府の勝利 →朝廷を監視するため、京都に㉒を設置</li> </ul> <p><b>執権政治の確立</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1232年、北条泰時<small>やすとき</small>は公正な裁判を行うため㉓を制定</li> </ul>

### ▼鎌倉時代の文化

特色	貴族中心の伝統文化を基礎にした、武士の気風に合った力強くわかりやすい文化
文学	『㉔』…軍記物。琵琶法師 <small>びわほうし</small> が語り伝える 『㉕』…藤原定家が編集 鴨長明の『㉖』や兼好法師の『㉗』…随筆
彫刻	東大寺南大門の㉘…運慶、快慶ら
絵画	絵巻物…「一遍上人 <small>いっぺんしょうにん</small> 絵伝」など

### ▼鎌倉仏教

宗派	開祖
浄土宗	㉙
㉚	親鸞
㉛	一遍
日蓮宗	日蓮
㉜	栄西・道元

## 確認問題

→類題演習 P.91

① 各地で生まれる武士団 次の文中の□□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 10世紀半ば、□□が関東地方で、藤原純友が瀬戸内地方で反乱を起こした。 ( )
- (2) 東北地方を統一した□□氏は、三代にわたって平泉(岩手県)を中心に勢力をふるった。 ( )
- (3) (2)氏の清衡・基衡・秀衡の三代の遺体は□□に安置されている。 ( )

② 朝廷と結び付く武士 次の問いに答えなさい。

- (1) 平安時代の後期、白河天皇は天皇の位を譲って上皇となった後も、政治の実権を握った。このような政治を何というか。 ( )
- (2) 12世紀半ば、平治の乱で源氏を破った平氏の人物はだれか。 ( )
- (3) (2)の人物は、武士で初めてある役職に任じられた。その役職は何か。 ( )
- (4) (2)の人物は、ある国との貿易に力を入れ、大輪田泊(兵庫県神戸市)を修築した。ある国とはどこか。 ( )
- (5) 1185年、壇ノ浦(山口県)で平氏を滅ぼした、源頼朝の弟はだれか。 ( )

③ 鎌倉を中心とした武家政権 次の文中の□□にあてはまる語句を答えなさい。

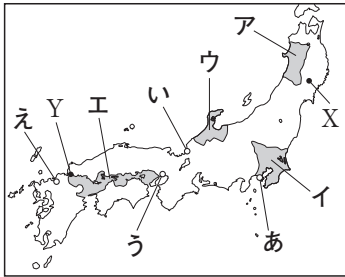
- (1) 1192年、征夷大將軍に任じられた□□は、鎌倉幕府を開いた。 ( )
- (2) (1)は、国ごとに□□という役職を置き、国の軍事・警察を任せた。 ( )
- (3) (1)が荘園や公領ごとに置いた□□は、年貢の取り立てを請け負った。 ( )
- (4) 將軍は御家人に領地や役職を与えた。このことを□□という。 ( )
- (5) 御家人は、(4)を受ける代わりに、合戦への参加や京都や鎌倉の警備などの義務を負った。このことを□□という。 ( )
- (6) (1)の死後、將軍の補佐役である□□に就いた北条氏が幕府の実権を握った。 ( )
- (7) 1221年、後鳥羽上皇が挙兵したが、幕府軍に敗れた。このできごとを□□という。 ( )
- (8) (7)の後、朝廷を監視するため、幕府が京都に設置した役所を□□という。 ( )
- (9) 1232年、北条泰時は、□□を定めて、裁判の基準を御家人に示した。 ( )

④ 武士や僧侶たちが広めた鎌倉文化 次の問いに答えなさい。

- (1) 後鳥羽上皇が藤原定家に編集させた和歌集を何というか。 ( )
- (2) 東大寺南大門に納められている金剛力士像を制作した中心人物は、快慶とだれか。 ( )
- (3) 琵琶法師によって語り伝えられた軍記物を何というか。 ( )
- (4) 兼好法師が書いた随筆を何というか。 ( )
- (5) 浄土宗を開き、念仏(南無阿弥陀仏)を唱えることを説いたのはだれか。 ( )
- (6) 罪を自覚した悪人こそが救われると説き、浄土真宗(一向宗)を開いたのはだれか。 ( )
- (7) 栄西や道元によって、座禅により悟りを得ようとする仏教の宗派が伝えられた。座禅で心を落ち着かせることが、合戦で戦う武士に受け入れられたため、幕府に保護されたこの宗派は何か。 ( )
- (8) 「南無阿弥陀仏」と唱えながら踊ることによって念仏信仰を広めたのはだれか。 ( )
- (9) 題目(南無妙法蓮華經)を唱えれば国も人々も救われると説いた人物はだれか。 ( )

## 練習問題

1 次の地図と年表を見て、あとの問いに答えなさい。

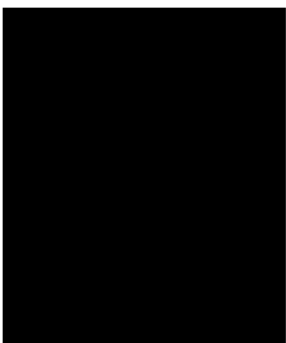


年代	できごと
935	<small>ひらのまさかど</small> 平将門が反乱を起こした…………… A
1086	白河上皇の院政が始まった…………… B
1156	<small>ほうげん</small> 保元の乱が起こった…………… C
1167	<small>きよもり</small> 平清盛が①になった…………… D
1185	平氏が滅びた…………… E
1192	源頼朝が②になった
1203	<small>ほうじょうときまさ</small> 北条時政が初代③となった
1221	<small>じょうきゅう</small> 承久の乱が起こった…………… F
1232	<small>ごせいばいしきもく</small> 御成敗式目が制定された…………… G

- (1) ①～③にあてはまる  
 役職名をそれぞれ答えなさい。
- (2) Aの反乱が起こった地域を、  
地図中のア～エから選び、記  
号で答えなさい。
- (3) Bのころから、地図中のXを拠点とし、砂金や馬などの交易で栄えた豪族は何  
氏か。
- (4) Cの後に起こった、後白河上皇の政権内での勢力争いで、平清盛が源義朝を破  
った戦いを何というか。
- (5) Dについて、平清盛が宋との貿易のために整備した港の位置を、地図中のあ～  
えから選び、記号で答えなさい。
- (6) Eについて、地図中のYでの戦いで平氏は滅んだ。Yの地名を答えなさい。
- (7) Eと同じ年に、源頼朝が国ごとに設置した役職を何というか。
- (8) Fのとき、幕府を倒すために挙兵した人物を次から選び、記号で答えなさい。  
ア 天武天皇    イ 後鳥羽上皇    ウ 桓武天皇    エ 天智天皇
- (9) Fの後、幕府が朝廷の監視や西国の武士の監視のために置いた役所を何という  
か。
- (10) Gについて、御成敗式目(貞永式目)を制定した人物はだれか。

2 次の問いに答えなさい。

- (1) 鎌倉時代の新しい仏教のうち、次のA～Cの文にあてはまる宗派を答えなさい。  
 また、その開祖をあとのア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。  
 A 南無妙法蓮華経という題目を唱える。  
 B 罪を自覚した悪人こそが救われるとする。  
 C 念仏を唱えながら踊る、踊り念仏を行う。  
ア 日蓮    イ 一遍    ウ 親鸞    エ 法然
- (2) 運慶・快慶らによって作られた、右の写真の彫像を何  
 というか。また、この彫像が置かれた建築物の名前を答  
えなさい。
- (3) 鴨長明が書いた随筆を次から選び、記号で答えなさい。  
ア 平家物語    イ 方丈記    ウ 徒然草    エ 枕草子



1 ㊦ 学習の ①～③

- (1) ① -----
- ② -----
- ③ -----
- (2) -----
- (3) -----
- (4) -----
- (5) -----
- (6) -----
- (7) -----
- (8) -----
- (9) -----
- (10) -----

2 ㊦ 学習の ④

- (1) A 宗派 -----  
開祖 -----
- B 宗派 -----  
開祖 -----
- C 宗派 -----  
開祖 -----
- (2) 彫像 -----  
建築物 -----
- (3) -----



## Key プラス

1 次の年表と史料を見て、あとの問いに答えなさい。

年代	できごと
935	平将門が反乱を起こす…………… A (ア)
1156	保元の乱が起こる…………… B
1159	平治の乱が起こる…………… C (イ)
1192	源頼朝が征夷大将軍になる (ウ)
1221	承久の乱が起こる…………… D (エ)

一. 頼朝公の時代に定められた、諸国の守護の職務は、国内の御家人を京都の警備に当たらせること、謀反や殺人などの犯罪人を取り締まることである。

一. 女性が養子を迎えることは、律令では許されないが、頼朝公の時代から今日まで、子のいない女性が土地を養子に譲ることは、武家社会のしきたりとして数え切れないほどある。

(一部要約・抜粋)

(1) 次の①～③のできごとは、年表中のA～Eのどの時期に起こったか、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 六波羅探題が設置された。      ② 前九年・後三年の役が起こった。  
③ 国ごとに守護が、莊園や公領ごとに地頭が置かれた。

(2) 年表中のA～Dにあてはまるものを次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- A 後白河天皇が、平清盛や源義朝らの協力を得て兄の上皇を破った。  
 イ 後鳥羽上皇が挙兵したが敗れ、隠岐国(島根県)へ流された。  
 ウ 平清盛が、源義朝を破り、その子の頼朝を伊豆に流した。  
 E 「新皇」と名乗った武士が、関東地方の武士団を集めて反乱を起こした。

(3) 史料は御成敗式目(貞永式目)の一部である。この法令を定めた人物はだれか。また、この法令を定めた目的を、「公正」の語句を使って簡単に説明しなさい。

2 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

鎌倉時代になると、それまでの貴族を中心とした伝統文化を基礎に、武士の気風に合った、わかりやすく力強い文化が育ち、<sup>①</sup>武士の活躍を描いた軍記物、<sup>②</sup>後鳥羽上皇の命令で編集された和歌集などが生まれた。また、鎌倉時代には<sup>③</sup>新しい仏教の教えが生まれた。

(1) 下線部①について、琵琶法師によって語り伝えられた軍記物は何か。

(2) 下線部②の和歌集を何というか。

(3) 下線部③について、次の問いに答えなさい。

① 下線部③にあてはまらないものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 浄土宗      イ 時宗      ウ 日蓮宗      エ 真言宗

② 栄西や道元が説いた教えの特色として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 題目を唱えれば救われる。      イ 念仏を唱えれば極楽浄土へ行ける。  
ウ 座禅によって悟りを得る。      エ 山奥での修行・学問を重んじる。

1の答え

(1)①

②

③

(2)A

B

C

D

(3)人物

目的

2の答え

(1)

(2)

(3)①

②

## ここで得点アップ!

### 1 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

9～10世紀、領地<sup>りょうち</sup>をめぐる争いで各地が混乱するなか、<sup>㉑</sup>武士が育っていった。武士は一族の長である惣領<sup>そうりょう</sup>を中心に<sup>㉒</sup>というまとまりを作った。彼らのなかには、天皇家や貴族に仕えて都の警備にあたる者や、地方で国の役人となり実力を蓄<sup>たくわ</sup>える者などがいた。なかでも<sup>㉓</sup>源氏と平氏は有力な存在となり、武士の棟梁<sup>とうりょう</sup>となった。10世紀半ばになると、中央政府に公然と抵抗する者も現れ、関東地方では<sup>㉔</sup>が、瀬戸内地方では<sup>㉕</sup>が反乱を起こした。また、東北地方は、<sup>㉖</sup>前九年・後三年の役の後、<sup>㉗</sup>奥州藤原氏<sup>おうしゅうふじわらし</sup>が統一した。

12世紀半ばになると、院政の実権をめぐる争いに武士が動員されるなか、<sup>㉘</sup>平清盛が勢力を広げ、平氏一族は朝廷との関係を強めて政治の実権を握るようになった。

- (1) ①～③にあてはまる語句や人物を書きなさい。 ①( )  
②( ) ③( )
- (2) 戦いを職としていた下線部<sup>㉑</sup>は、日ごろからどのような生活をしていましたか。武士の生活が描かれている左の写真を参考にして書きなさい。  
 ( )
- (3) 下線部<sup>㉓</sup>のうち、下線部<sup>㉔</sup>の争乱を平定し、東国で勢力を伸ばしたのは何氏か。  ( )
- (4) 下線部<sup>㉗</sup>の拠点となった、中尊寺金色堂<sup>ちゆうそんじこんじきどう</sup>などがのこる岩手県の町を答えなさい。  ( )
- (5) 下線部<sup>㉘</sup>について、平清盛は、平安時代に摂関政治の全盛期を築いた藤原氏と同じような方法で朝廷との関係を強めていった。この方法を、「娘」の語句を使って簡単に説明しなさい。  
 ( )

### 2 次の史料を読んで、あとの問いに答えなさい。

皆の者よく聞きなさい。これが最後の言葉である。亡き公が朝廷の敵を倒し、幕府を開いてから、官位や土地など、その<sup>㉑</sup>御恩<sup>ごおん</sup>は山よりも高く海よりも深い。この御恩<sup>ごおん</sup>に報<sup>むく</sup>いる心が浅くてよいはずがない。…名誉を失いたくない者は、敵<sup>う</sup>を討ち、幕府を守りなさい。 (「吾妻鏡」一部要約・抜粋)

- (1) 史料は、ある戦乱の際に、ある人物が行った演説の内容を示している。「ある戦乱」と「ある人物」の名前をそれぞれ答えなさい。 戦乱( ) 人物( )
- (2) (1)の戦乱の後、京都に六波羅探題が置かれた。六波羅探題が置かれた目的の1つを、「監視」の語句を使って書きなさい。  
 ( )
- (3) 史料のにあてはまる人物名を答えなさい。  ( )
- (4) 下線部<sup>㉑</sup>について、鎌倉時代の将軍と御家人は、御恩<sup>ごおん</sup>と奉公<sup>ほうこう</sup>の関係で結ばれていた。御恩と奉公とはそれぞれどのようなことか。次のの4つの語句のうち、それぞれ2つずつ用いて、解答欄に合うように答えなさい。  
 領地  合戦  役職  警備
- 御恩(将軍が) ( )
- 奉公(御家人が) ( )

# 定期テスト対策 Ⅲ 標準編 Ⅲ

単元5 武士の世の始まり～  
単元7 人々の結び付きが強まる社会

得点

/100点

教科書 P.60~91

実施時間のめやす⇨25分

1 右の年表を見て、次の問いに答えなさい。⇨教科書P.60～69 (各4点)

□(1) Aについて、藤原純友が乱を起こした地方を次から選び、記号で答えなさい。( )

- ア 九州地方      イ 瀬戸内地方  
ウ 近畿地方      エ 関東地方

□(2) Xの期間に奥州藤原氏が、右の写真の寺を建てた場所は岩手県のどこか。( )

□(3) Bについて、平清盛が行った政治を次から選び、記号で答えなさい。( )

- ア 天皇に位をゆずり、自分は上皇となって住まいである御所で政治を行った。  
イ 娘を天皇の后にして生まれた子を天皇とし、自分は太政大臣となって政治を行った。  
ウ 幼い天皇の摂政や成人した天皇の関白として、天皇の代わりや補佐として政治を行った。  
エ 神に仕えて、まじないによって政治を行った。

□(4) Cについて、源頼朝が、荘園や公領の管理や年貢の取り立てに置いた役職を何というか。

( )

□(5) Dについて、承久の乱の後に置かれた役職を何というか。

( )

□(6) Eについて、御成敗式目を定めた人物を次から選び、記号で答えなさい。( )

- ア 北条政子      イ 北条泰時      ウ 北条時宗      エ 北条時政

年代・世紀	できごと
10世紀半ば	藤原純友が乱を起こす……………A
	↓ X
1159	平治の乱で平清盛が源義朝を破る……………B
1192	源頼朝が征夷大將軍になる……………C
1221	承久の乱が起こる……………D
1232	御成敗式目が定められる……………E

2 右の年表を見て、次の問いに答えなさい。⇨教科書P.70～75

((6)完答, 各4点)

□(1) Aについて、モンゴル帝国の5代皇帝で、元の皇帝となったのはだれか。( )

□(2) 元は、1274年と1281年の2度にわたり、日本に襲来した。このできごとをまとめて何というか。( )

□(3) Bにあてはまる人物を答えなさい。( )

□(4) Cについて、鎌倉幕府の命にそむき京都を攻め落とし、幕府を開いた人物を答えなさい。( )

□(5) Dについて、南北朝を統一した人物を答えなさい。( )

□(6) (5)の人物のころに整った、室町幕府の制度について述べた次の文中のXにあてはまる役職を答えなさい。また、Yにあてはまる機関をあとのア～エから選び、記号で答えなさい。

年代	できごと
1279	元が宋を滅ぼす……………A
1334	Bが建武の新政を行う
1338	幕府を開く……………C
1392	南北朝を統一させる……………D

室町幕府は、將軍の補佐役であるXに將軍家とかかわりの深い守護大名を任命した。また、関東や甲斐・伊豆の支配のために、Yを置いた。

- ア 地頭      イ 守護      ウ 問注所      エ 鎌倉府

( X , Y )

3 日本と近隣諸国との交流について、次の問いに答えなさい。⇨教科書P.76～79 (各4点)

(1) 右の地図は、15世紀の東アジアの貿易を表している。これについて、次の問いに答えなさい。

□① Aにあてはまる中国の王朝名を次から選び、記号で答えなさい。 ( )

ア 唐 イ 宋 ウ 明 エ 元

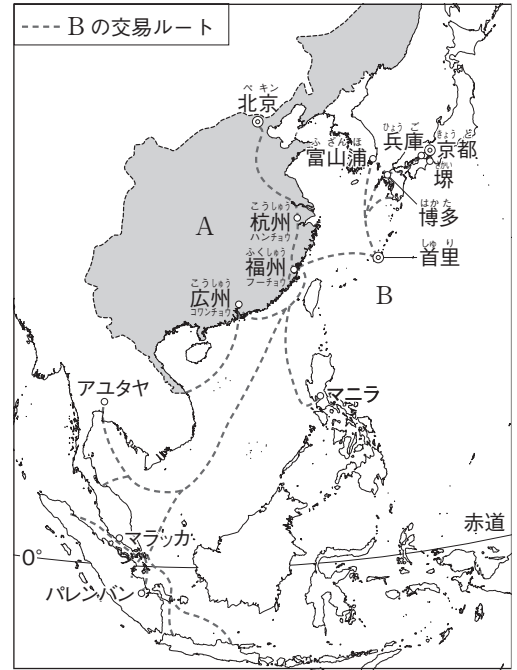
□② Bにあてはまる、尚氏が統一した国を何というか。 ( )

□③ 地図からわかる、BがAや日本、東南アジアの国々で行っていた貿易を何というか。 ( )

□(2) 南北朝時代のころから、現在の松浦地方などを根拠地として海賊行為をはたらいていた人々を何というか。 ( )

□(3) 14世紀末に成立した朝鮮で作られた、母音と子音を組み合わせた朝鮮独自の文字を何というか。 ( )

□(4) 13世紀までには独自の文化を持ち、すでに蝦夷地(北海道)でくらしていた、本州の人々とも交易を行った人々を何というか。 ( )



4 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。⇨教科書P.82～91 (各4点)

室町幕府の8代将軍足利義政のとき、将軍の跡継ぎ問題をめぐって細川氏と山名氏の対立が深まり、の乱が起こった。戦乱は全国に広がり、<sup>a</sup>戦国大名が現れるようになった。一方で、<sup>b</sup>各地で守護大名を倒したりして自治を行う動きが広まった。また、京都では<sup>c</sup>町衆が中心となり、自治を行った。

□(1) 文中のにあてはまる語句を答えなさい。 ( )

□(2) 下線部<sup>a</sup>について述べた次の文中のにあてはまる語句を書きなさい。 ( )

下の地位の者が上の地位の者を実力で倒そうとするの風潮のなか、戦国大名が現れた。

□(3) 下線部<sup>b</sup>について述べた次の文のにあてはまる語句をあとのア～エから選び、記号で答えなさい。

北陸地方から近畿地方にかけて、武士と農民がの信仰で結び付き、守護大名や荘園領主に對抗した。加賀では、守護大名を倒して、100年近くも自治を続けた。

ア 浄土宗 イ 浄土真宗(一向宗) ウ 時宗 エ 日蓮宗 ( )

□(4) 下線部<sup>c</sup>について、京都と同様に自治組織を作り自治を行った港町を次から選び、記号で答えなさい。

ア 堺 イ 足利 ウ 奈良 ( )

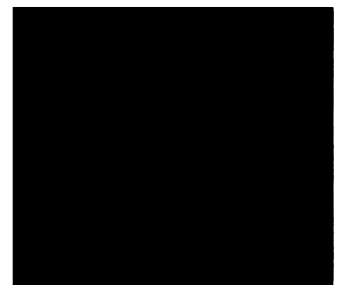
(5) 室町時代の文化について、次の問いに答えなさい。

□① 金閣を建てた人物を次から選び、記号で答えなさい。 ( )

ア 足利尊氏 イ 足利義満 ウ 足利義教 エ 足利義政

□② 右の資料の水墨画を大成した人物はだれか。 ( )

□③ 銀閣の東求堂同仁齋にある、現代の和室にもつながる、床の間などを持った部屋の様式を何というか。 ( )





1 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。⇒教科書P.60～65

(各4点)

- A 豪族が武装して土地をめぐる争うようになり、武士は朝廷や国司に仕えて、力を付けていった。
- B 院政が始まったころ、武士たちは土地を寺社に寄進していった。
- C 平清盛は武士として初めて太政大臣になったが、しばらくすると平氏に対する不満が高まった。
- D 鎌倉時代、農民は荘園領主に年貢を納めていたが、地頭からも厳しい支配があった。
- E 後鳥羽上皇は、朝廷の勢力を回復させようとして兵を挙げたが、幕府の大軍に敗れた。

□(1) Aの下線部について、10世紀中ごろに起こった武士の反乱について述べた次の文中の□X、□Yにあてはまる語句の組み合わせとして正しいものをあとのア～エから選び、記号で答えなさい。( )

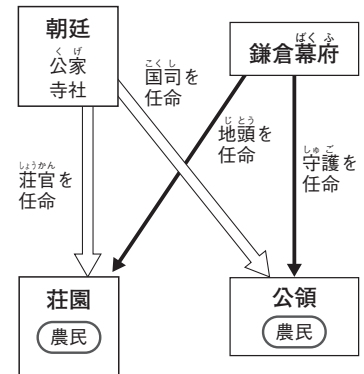
10世紀中ごろに、平将門が□Xで、藤原純友が西日本で大規模な反乱を起こした。反乱をしずめるために、朝廷は、□Yたちの力を借りた。

- ア X - 東北 Y - 貴族 イ X - 東北 Y - 武士
- ウ X - 関東 Y - 貴族 エ X - 関東 Y - 武士

□(2) Bの下線部について、寺社が朝廷に圧力をかけて荘園の争いを解決しようとしてかかえた兵を何というか。( )

□(3) Cの下線部について、平清盛が日宋貿易を進めるために行ったことを簡単に答えなさい。( )

□(4) Dの下線部について、右の資料は農民の支配のしくみを表している。農民はどのような支配を受けたか。簡単に答えなさい。( )



- (5) Eのできごとを何というか。( )
- (6) Eの後、1232年に定められた、武士の慣習をまとめた法令を何というか。( )

2 鎌倉時代の文化について、次の問いに答えなさい。⇒教科書P.66～69

(各4点)

(1) 右の資料について、次の問いに答えなさい。

- ① 資料の像を何というか。( )
- ② 資料の像に見られる特徴を、簡単に答えなさい。( )

□(2) 琵琶法師が語り伝えた、武士の戦いを描いた軍記物を何というか。( )

□(3) 法然の弟子であった親鸞が説いた新しい仏教を何というか。( )

□(4) 鎌倉時代の仏教の教えの特徴を、簡単に答えなさい。( )



3 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。⇨教科書P.70～79 (各4点)

A 元は、を従え九州北部に2度襲来したが、<sup>a</sup>幕府軍の抵抗と暴風雨などにより、2度とも退却した。  
 B <sup>b</sup>建武の新政に不満を持つ者が多くなり、足利尊氏が兵を挙げて、新政は2年半で終わった。<sup>c</sup>後醍醐天皇は吉野に逃れた。尊氏は京都で新しい天皇を立て、その天皇から征夷大将軍に任じられて幕府を開いた。60年近く2つの朝廷に分かれていたが、<sup>d</sup>足利義満が山名氏などのをおさえ、朝廷を統一した。

- (1) にあてはまる国名を答えなさい。 ( )
- (2) 下線部<sup>a</sup>について、このときの幕府の執権の名前を答えなさい。 ( )
- (3) 右の史料は、元の襲来の後に幕府が出した法令である。幕府がこの法令を出した目的を、簡単に答えなさい。  
( )
- (4) 下線部<sup>b</sup>について、建武の新政ではどのような政治が行われたか。「無視」と「権力」という語句を使って、簡単に答えなさい。  
( )
- (5) 下線部<sup>c</sup>について、後醍醐天皇が吉野へ逃れておこした王朝を何というか。 ( )
- (6) 下線部<sup>d</sup>について、足利義満が中国と行った、中国から送られた交通証明書を用了貿易を何というか。 ( )
- (7) にあてはまる、武士を家来にし、国司に代わって一国を支配するようになった大名を何というか。 ( )

所領を質に入れたり、売買したりすることは、御家人たちが落ちぶれるもとであるので、今後いっさいやめよ。…これまでに御家人でない武士や庶民が御家人から買った所領は、20年以上たっていても、返すこと。  
(一部要約)

4 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。⇨教科書P.82～91 (各4点)

室町時代、商工業者は<sup>a</sup>座を作って貴族や寺社と結び付いた。また、交通も発達して<sup>b</sup>運送業が活躍した。村では、有力者を中心にして寄合を開き、用水の配分などについて村のおきてを定めるなど自治組織が作られた。自治が広まったことで、1428年には<sup>c</sup>正長の土一揆が起こった。  
 室町時代の代表的な建物には、<sup>d</sup>金閣と銀閣がある。また、室町時代には民衆が成長したため、庶民の文化も高まった。京都では祇園祭が復活し、農村では神社の祭りがさかんになり、<sup>e</sup>能が大成された。また、『一寸法師』などのが作られた。

- (1) 下線部<sup>a</sup>について、座は貴族や寺社に税を納める代わりにどのような権利を得たか。「独占」の語句を使って、簡単に答えなさい。 ( )
- (2) 下線部<sup>b</sup>について、陸上で馬の背にのせて荷物を運んだ業者を次から選び、記号で答えなさい。 ( )  
 ア 土倉      イ 問(問丸)      ウ 馬借
- (3) 下線部<sup>c</sup>について、正長の土一揆で求めたのは何か。簡単に答えなさい。  
( )
- (4) 下線部<sup>d</sup>について、次の問いに答えなさい。
  - ① 金閣を建てた人物はだれか。 ( )
  - ② 銀閣が特に影響を受けている仏教の宗派を何というか。 ( )
- (5) 下線部<sup>e</sup>について、能の合間に演じられ発展した喜劇を次から選び、記号で答えなさい。 ( )  
 ア 田楽      イ 猿楽      ウ 狂言      エ 盆踊り
- (6) 文中のにあてはまる語句を答えなさい。 ( )